

2009年8月20日

厚生労働大臣
舛添 要一 様

社団法人 全国腎臓病協議会
会長 宮本 高宏

新型インフルエンザ感染拡大防止について（お願い）

謹啓 平素は、腎疾患対策にご配慮いただき感謝申し上げます。

さて、8月15日、沖縄県在住の腎不全患者が新型インフルエンザにより死亡したことが沖縄県および厚生労働省から報告されました。引き続き18日には神戸市の腎不全患者死亡報告がありました。これは、国内における新型インフルエンザによる初めての死亡例であるとともに、我々が最も懸念していた腎不全患者における新型インフルエンザによる死亡例（重症例）でもあり、続いて発生したことに大きな衝撃を受けています。

厚生労働省では、空港での水際作戦以来、新型インフルエンザへの対応を行っていただいていた所ですが、今回の腎不全患者の死亡を受け、さらに一段の対策をとっていただきたく、下記の通りお願いいたします。

国内約30万人の透析患者の不安を解消し、安心の治療生活が継続できるよう特段の配慮を切にお願い申し上げます。 敬具

記

1. 新型インフルエンザワクチンの開発・製造を急ぐとともに、腎疾患はじめ基礎疾患を持つ患者に対し優先的に接種することを早急に確定し、広報してください。また、接種に際する費用負担についても、公的助成等を検討してください。
2. 貴職発表の腎臓病をはじめとする基礎疾患を持つ患者に対する新型インフルエンザ対策パンフレット等の配付を早急に実施するなど、今後の対策を徹底してください。
3. 基礎疾患を持つ患者で新型インフルエンザの感染が疑われる場合は、渡航歴がない等感染源が不明であっても、直ちに簡易検査やPCR検査を行い、判定を行ってください。
4. 国および地方自治体においてタミフルなどの治療薬の十分な備蓄をおこない、感染が報告された際は直ちに治療薬を供給してください。
5. 新型インフルエンザに関する正確な情報を速やかに伝達し、患者が不用な不安を抱かないようにしてください。
6. 全国的な感染拡大状況に鑑み、透析医療・患者に対する対策を検討するため関係機関・団体及び弊会を含めた検討委員会を早急に設置してください。

以上